

《研究テーマ》

「モチベーションが高い医療者が望む働き方改革は何か」

《要旨》

本研究では、神奈川県内の病院に勤務する医師以外の医療従事者を対象にアンケートを行った。

仕事に「やりがい」や「プロ意識」を求める回答者群(以後「やりがい群」と呼ぶ)をモチベーションが高い人材と設定し、やりがい群を除く回答者群(以後「対照群」と呼ぶ)との比較により、やりがい群が求めている事が何かを抽出した。

結果、いずれの群も「職場の雰囲気」「休暇の取りやすさ」が上位にある前提ではあるが、やりがい群は対照群に比べて、「人的なつながり」をモチベーションを高める要因として重視していることが分かった。また、やりがい群は36歳～50歳、経験年数21年以上に多い。

モチベーションの高い人材は人的なつながりを求める傾向にあるため、この流出を防ぐためには「人的なつながり」を醸成するような施策を病院は取るべきである。

《研究者》

金城 悠貴	済生会横浜市東部病院	医事企画室長(申請者)
笠間 哲史	法技研横浜法律事務所	弁護士
金子 高志	やまと診療所武蔵小杉	事務長
中村 知明	聖隷横浜病院	事務長
宮本 亜由美	株式会社マイナビ	紹介事業本部 メディカル営業企画部 所長
渡辺 富士子	関東労災病院	看護師長

(肩書は2019/4/1のもの・申請者以外は50音順)